

候、代米三升四合ニテ候、薬調合候

慶長四年閏三月廿二日

藤備前へ薬持下候、南へも遣候

慶長四年閏三月廿四日

三升四合下御門薬屋へ遣候

慶長四年四月廿日

一日気悪候て平臥候、禾嘉散一包含候

慶長四年九月廿四日

堺屋ニテ蜜丸之薬六色取候、代米一斗三升四合ニテ候

慶長四年九月廿五日

如前、天气上々、薬拵候

慶長四年九月廿七日

帰候て薬少々ヲロシ候

慶長四年九月廿八日

薬ヲロシ候

慶長四年十月二日

如前、天气上々、蜜一身四合ツ、十兩買之候て練申

候、コホシ候間へリ可申候

一 舜旧記

慶長十七年八月十六日

十六日、雨降、

於当寺豊心丹調合丸之事、爰許衆五・六人斗雇也、

次増上飭当了、神人三人来、厚紙一帖・美濃紙已下

遣了

元和五年十一月廿日

廿日、晴、

権少副奥州下向ニ付、紫帯一筋并蘇香円・鳳髓丹・

丁子円・西大寺薬五十粒遣也、兵庫助木綿踏(皮脱丸)一足・

扇二本・鳳髓丹一貝遣也

三 本光国師日記

慶長十九年六月十四日

一六月十四日、与三江戸へ遣ス、藤堂和泉殿へ状遣ス、

帷子五之内単物ニ遣ス、寺沢志摩殿へ状遣ス、匂袋五つ遣ス、二郎兵衛へ状遣ス、西大寺之豊心丹ニ包遣ス、栄任へ状遣ス、帷子二之内単物一遣ス、同内儀へも文遣ス、さらし一匹遣ス、何も十四日之日付に而遣ス、栄任へ羽越中殿之状又京之宿夕之状共をも、此便宜に遣ス也

一五 奈良曝

貞享四年刊

薬屋

井上町

竹田角兵衛

浄言寺町

山本小兵衛

角振新屋町

忠兵衛

花芝町

庄五郎

同町

善六

東向中ノ町

市左衛門

東向南町

彦四郎

井上町

弥次兵衛

元興寺町

喜三郎

芝新屋町

山田や
八郎兵衛

公納堂町

久弥

角振町

しんじ中坊

割石町

清兵衛

一四 雍州府志

貞享元年

古今ノ名物 大和

西大寺豊心丹

前胡

枸杞子

土産

豊心丹 伝言、興正菩薩御尊、住南都西大寺、於茲為

救諸人之疾苦、製斯藥以伝于世、故世称西大寺藥、

今省薬字、專謂西大寺、(後略)

一六 和漢三才図会

正徳三年刊

大和国土産

豊心丹ホウシントウ
丸薬出ニ於西
大寺ヨリ

川芎

地黄出於地
黄村

当帰

前胡 枸杞子

此外薬草多出ニ於金剛山ニ者良

按、薬酒、本草綱目所載者甚多、而本朝所ニ用米一方品亦不レ少矣、紀州、勢州之忍冬酒、賀州、肥後州之菊酒、南都薬酒、浅茅酒、並得ニ其名一、以備ニ上饌一、如ニ淫羊藿酒、豆淋酒、龍眼肉酒、枸杞酒、桑酒、黄精酒、地黄酒等一最有レ効、梅酒、榧酒、揚梅酒、鶏卵酒、覆盆子酒等不ニ枚挙ニ用薬物及沙糖、漬ニ焼酎或醇酒一、封ニ甕口一候ニ其熟時一用

国土産

豊心丹 奈良 保童円 今井 薬種類

一八 日本輿地通志 畿内部大和国

享保二十一年(元文元)刊

添下郡

豊心丹 東大寺出

万病丸 矢田村出

葛下郡

桑山丸 大屋村 慶雲寺菅伝桑山氏家方、因名

宇智郡

松脂膏 上野真土邑 俗呼ニ待乳膏一

吉野郡

茯苓

栝蒌 仁 以上關郡山中出

当帰 釈迦嶽出

宇陀郡

当帰

一七 大和国細見絵図

享保二十年

芍薬 佳品世称大和川芍

白芍薬 絶品世称宇陀芍薬

地黄 葛粉藤粉俱諸邑出

城下郡

地黄 武蔵村

高市郡

地黄 地黄村為上品、郡南諸邑亦多出

当帰

芍薬

地黄 俱郡南諸邑出

苦棟子 橘村世称絶品

十市郡

地黄

地黄

当帰 俱郡南諸村出

一九 大和名所図会

寛政三年

西大寺

(中略)

豊心丹 坊中にとくあり、道宣律師もろこしより、豊心丹の方を伝へ来られしとぞ、一説に、島山の何がし、庶土より方を求め、秘方とせられしが、西大寺の大衆軍場に心のはたらきあり、此貨として、豊心丹の方に、三百石をそへて寄附せられしと也、島山の記録に見へたり

二〇 一話一言 卷十三

寛政七十二年カ

陀羅尼輔

吉田桃樹の槃游余録大峯洞(中略)の条に陀羅尼輔という薬あり、それを調じぬる所へいたりてみるに、黄蘗のなましくしき皮を煉つめたるもの也、大峯にてたける香のけふりのたまれるに、百草をまじへ加持したるものなりなどいへるは、よしもなきことなり

三 和州吉野郡名山図志

弘化年間

豊心丹 西大寺 香砂丸添下郡七条村 保童丸高市郡今井町

薬種 陀羅尼助

山上嶽記

和州吉野郡洞川村より山上嶽江三里

洞川村より吉野へ四里在、愛染越と云、洞川は村内六町にして家建よく旅宿多し、田畑少く、夏ハ山上詣にて賑ひ、冬は吉野弁当杯下地を檜木にて造り世を渡る、代地ニ而陀羅助とて黄皮を濃く煎し膏のことくなし竹皮のへて諸方に出て売る、黄皮は上方よりも多く来り、天の川にても剝て洞川に出す、又北山之者此皮を背負て小篠に登り、山上嶽を経て昼の八ッ時頃朝ニ北山洞川に北山来商ふ、此薬ハ往古役行者百草を取煎し薬となし世を渡るへしと後鬼之者洞川ニ在教へ置玉ひし薬方也ト云

三 大和国町村誌集

室生村	下田口	川芎	七二〇斤
曾爾村	田口	川芎	五十貫
内牧村	小長尾	白芷	一、〇〇〇斤
宇太村	赤壇	物産諸薬種	
	見田	当帰	
	大神	当帰	
	大沢	防風黄芩	
	松井	当帰	
神戸村	関戸	茯苓	
政始村	岩清水	薬種	
宇賀志村	佐倉	薬草	
	宇賀志	葛	

嘉永改元戊申

三 大和国細見図

国中名産略記

西山 牡丹 七〇〇斤

当帰 四〇〇斤

芍薬 四〇〇斤

谷 牡丹 五〇〇斤

芍薬 二五〇斤

秋野村 広橋 牡丹 三〇〇貫

当帰 三〇〇貫目

百合根 四〇〇貫目

四 百合根 九〇駄

立石 牡丹 五〇〇貫目

百合根 一、〇〇〇貫目

下市村 阿知賀 芍薬 二、〇〇〇斤

善城 百合根 一、一二〇貫

下市 芍薬 五〇斤

牡丹皮 五〇〇斤

当帰 五〇〇斤

呉茱萸 四〇〇斤

木香 七〇〇斤

合薬 一万八〇〇帖

栃本 百合根 一〇駄

牡丹根 三〇荷

芍薬 五荷

原谷 百合根 六駄

牡丹 五荷

芍薬 三荷

梨子堂 百合根 三駄

牡丹根 一〇荷余

白銀村 尼ヶ庄 百合根 二〇貫目

小古田 牡丹皮 三〇〇斤

山萸萸 二〇〇斤

芍薬 三〇〇斤

八ッ川 芍薬 一〇〇斤

唐戸 牡丹皮 一、〇〇〇斤

芍薬 六二五斤

山萸萸 一、〇〇〇斤

莫菜萸 一〇〇斤

天川村

川股

蕨粉 五石

葛粉 七石

蕨粉 八石

平雄

当帰 二万斤

川合

干蕨 一〇貫目

干紫蕨 二貫目

大塔村

惣谷

当帰 二〇〇斤

中井傍示

当帰 一三〇斤